



# CDP2014 優秀企業

## キリンホールディングス株式会社



キリンホールディングス株式会社  
代表取締役常務取締役 中島 肇氏

我々キリングroupは昨年2013年に長期環境ビジョンを策定しました。目指す姿はキリングroupのバリューチェーンから発生する環境負荷を地球が賄う事が出来る能力とバランスさせる、いわば資源循環100%社会の実現です。

ここで言う資源とはローマテリアルだけでなく、キリンの総飲料事業の主要な原料である、水・生物・容器包装の資源を指しています。事業の主要な原料である生物資源は殆どが農産物であり、農産物を生み出す農業は世界の炭水資源を大量に消費

し、森林伐採にも繋がります。この分野の持続可能性に貢献する事は正に事業の持続可能性と一致しております。これは豊かな恵みを将来に亘って享受し、引き継いでいくこの長期環境ビジョンの実現に他なりません。この考えの下、生物資源では「キリン午後の紅茶」の故郷に当たるスリランカの紅茶園に対して持続可能な農業認証の取得支援を行なっています。国際NGOであるレインフォレスト・アライアンスとの共同で既に50近い農園がトレーニングを開始しています。

又水資源では、ビール工場の水源地の森活動を地域の方々やNGO等の方々のご協力を得ながら継続しております。今年も主なるグローバル製造拠点であるいくつかの場所に於いて河川の有域リスク調査やバリューチェーンでの水使用の量の把握を行っています。そして容器・包装については、ペットボトル容器に再生ペットを100%使用したキリン午後の紅茶おいしい無糖を発売し、ペットボトルの100%リサイクルに着手致しました。

ビールではグラントキリンと言う商品がありますが、これには国内最

軽量のワンウェイ瓶を使用しております。更に地球温暖化に關した取り組みについては、国内食品、酒類メーカーとして最も早くスコップ3の把握に着手し、国内製造物流オフィスのくくりにおいて既にCO2排出量を1990年比で約55%の削減が出来ております。尚、情報開示においては先日ニューヨークで開催された気候変動サミットの際に、CDP様からのご依頼を受け、CCRF（気候変動報告フレームワーク）に準拠した形で気候変動報告を統合報告書の中で盛り込む事を宣言しております。

最も重要な事は自然の恵みを最善の商品としてお客様にご提供し続けたいと言うキリングroupの長期環境ビジョン、この背景について共有し実践をするためバリューチェーンの様々なステークホルダーの方々とコラボレーションを続けていきたいと思っております。

今後も一企業の枠に留まらず、視野を広め更にいろいろな方々と得意分野を分かち合いながら大きなシナジーを生むような環境への取り組みを続け、前進して参りたいと思っております。